

案内図



● 調査地



0 m 1000 2000



縮尺 1:50,000

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge201

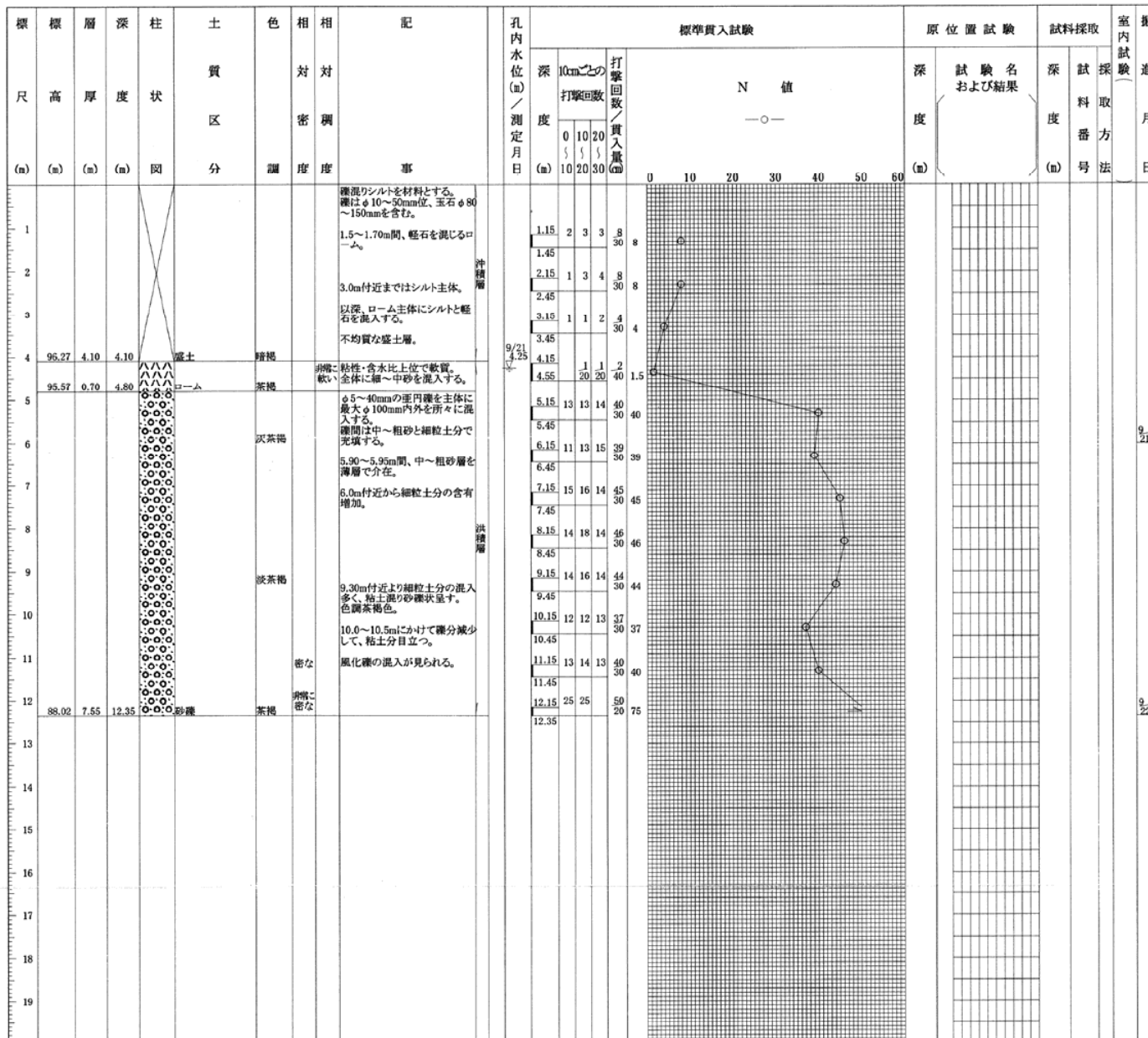
調査名 (仮称)東消防署新築工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名		B-1		調査位置			宇都宮市今泉新町街区番号187-1,2,3			北緯		° ' "					
発注機関		宇都宮市			調査期間			平成17年9月21日～平成17年9月22日			東経		° ' "				
調査業者名		株式会社 中央土木工学研究所			主任技師			現場代理人			ボーリング責任者						
孔口標高		KBM 100.37m		角		180° 上 90° 下		方 向		270° 北 0° 90° 180° 西 東 南		地盤勾配		鉛直 90° 水平			
総掘進長		12.00m		使用機種			試験機			カノーKR-50		ハンマー 落下用具		半自動落下			
						エンジン			NFAD-7			ポンプ			V5-P		



株式会社 中央土木工学研究所

ボーリング柱状図

調査名 (仮称)東消防署新築工事に伴う地質調査業務委託

JACIC様式Ge201

事業・工事名

ボーリングNo. _____
シートNo. _____

ボーリング名	B-2	調査位置	宇都宮市今泉新町街区番号187-1, 2, 3	北緯	° ' "
発注機関	宇都宮市	調査期間	平成17年9月13日～平成17年9月17日	東経	° ' "
調査業者名	株式会社 中央土木工学研究所	主任技師		現場代理人	
孔口標高	KBM 100.41m	角	180° 上 90° 下	コ ア 鑑 定 者	ボーリング責任者
総掘進長	17.00m	方 向	北0° 270°西 90°東 180°南	試錐機	カノールKR-50
		地盤勾配	鉛直90° 水平0°	エンジン	NFAD-7
				ハンマー 落下用具	半自動落下
				ポンプ	V5-P

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状 (m)	土質 区分	色調 分調	相対 稠度	相対 密実度	相対 稠度	相対 密実度	記 事	孔内 水位 (m) 測定 月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		掘 進 日					
												深 度 (m)	10cm以下の 打撃回数		打撃 回数 /貫入 量 (cm)	N 値 ○—○	深 度 (m)	試 験 名 お よ び 結 果	深 度 (m)	試 料 採 取 番 号		採 取 方 法	室 内 試 験 (比 重 粒 度)			
													0	10										20	30	
1										上部0.15m、砕石0-30程度、密な状態で締る。		1.15	3	3	4	10										
2										1.10m付近まで、砕石と礫の混じるロームシルトの混合土。礫はφ10~40mm多く、最大φ80mm内外。下方にシルト優勢する。		1.45	2	2	3	7										
3										以深、礫混りシルトを材料とする。不均質な粒度構成、礫はφ10~60mm位を混入する。		2.15	2	2	3	7										
4										3.80m下、礫分減少。礫φ10~30mm少量混入。又、軽石粒や深度4.35m付近には凝灰岩片を含む。有機質あり。	9/13 4/20	3.15	2	2	2	6										
5	95.71	4.70	4.70	盛土	灰黒					φ5~50mm内外の重円礫主体。最大φ50mm内外。礫間には中〜粗砂と少量の細粒土分により充填される。φ40m付近まで灰褐色。		3.45	2	2	2	6										
6										以深は徐々に細粒土分の混入上昇し、淡茶褐色呈す。		4.15	1	2	4	7										
7										重円礫φ5~40mm主体、φ100mm内外の玉石点状存在する。		4.45	11	16	12	39										
8	92.11	3.60	3.60	砂礫	淡茶褐	中位				細〜中砂主体。礫少量混入。最大φ20mm位。細粒土分の含有多い。		5.15	10	11	11	32										
9	91.61	0.50	0.50	砂	灰茶					礫はφ5~40mmの重円礫を主体として、玉石φ100mm内外を混入する。		5.45	10	11	11	32										
10										充填物の中〜粗砂と細粒土分により礫間を密に埋める。		6.15	10	11	11	32										
11										10.2m付近から細粒土分の含有増し、粘土混り砂礫状へと変化。色調茶褐色呈す。		6.45	10	11	11	32										
12										細粒土分の混入は下方に従い多くなるが、部分的に減少箇所も見られる。		7.15	10	11	14	35										
13										12.7~13.0mにかけて透水有り。		7.45	10	11	14	35										
14										14.0m付近より粘土分目立って多く、非常に密な締り具合にある。		8.15	8	5	4	17										
15										コア長3~5cm(推定礫φ100~150mm程度)の玉石を散在する。		8.45	11	12	12	35										
16										所々、風化礫含む。		8.80	8	80												
17	82.97	8.64	17.44	砂礫	茶褐	密な						9.15	11	12	12	35										
18												9.45	11	14	12	37										
19												10.15	11	14	12	37										
20												10.45	11	14	12	37										
												11.15	10	12	13	35										
												11.45	12	13	14	39										
												12.15	12	13	14	39										
												12.45	14	16	17	47										
												13.15	14	16	17	47										
												13.45	13	15	22	50										
												14.44	9	29	51.7											
												15.15	18	20	12	50										
												15.40	5	25	60											
												16.15	16	19	15	50										
												16.42	7	27	55.6											
												17.15	15	16	19	50										
												17.44	9	29	51.7											

ボーリング柱状図

調査名 (仮称)東消防署新築工事に伴う地質調査業務委託

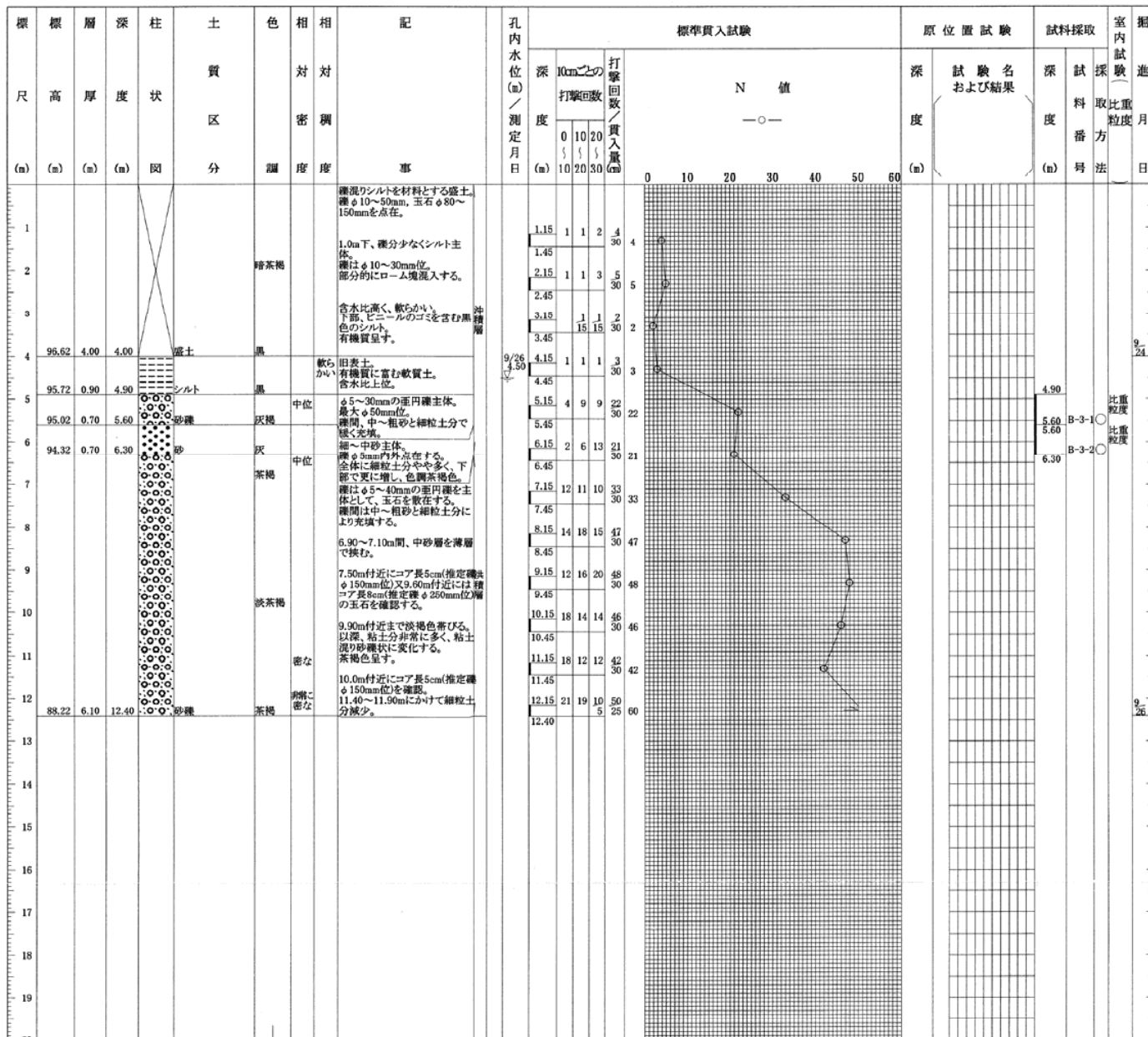
JA C I C様式Ge 2 0 1

事業・工事名

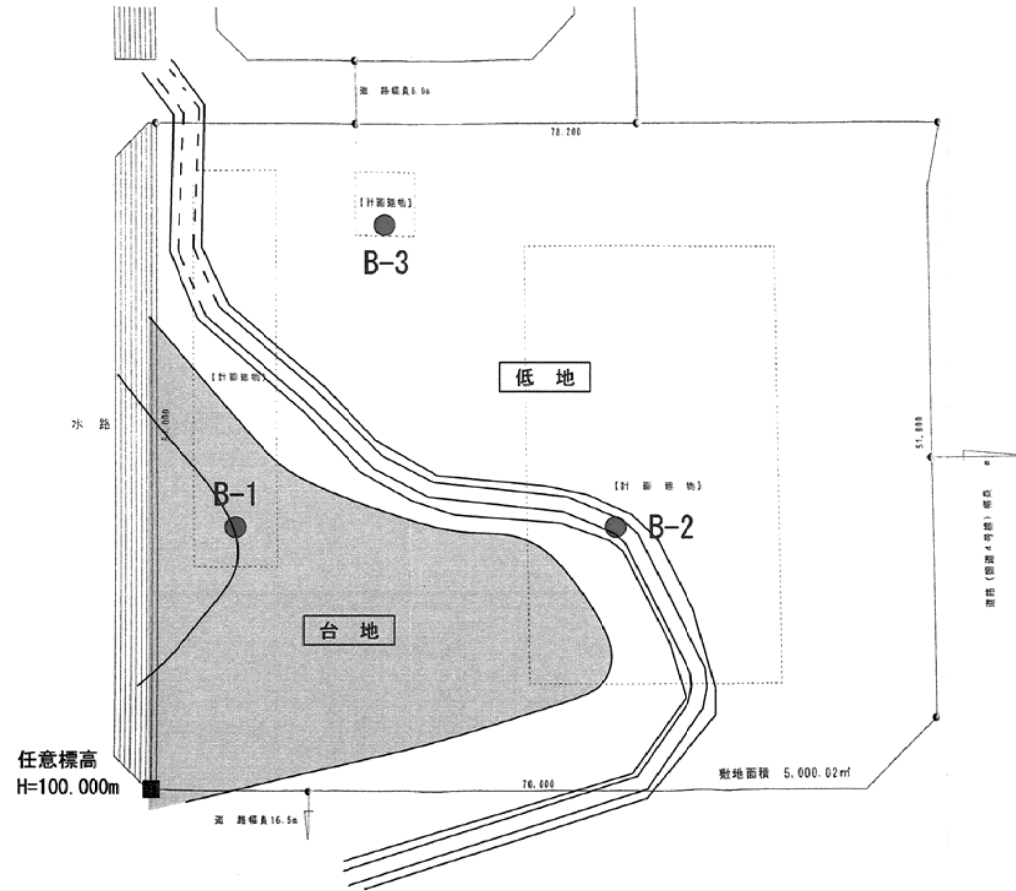
ボーリングNo. _____

シートNo. _____

ボーリング名	B-3		調査位置	宇都宮市今泉新町街区番号187-1, 2, 3			北緯	° ' "			
発注機関	宇都宮市			調査期間	平成17年9月24日～平成17年9月26日			東経	° ' "		
調査業者名	株式会社 中央土木工学研究所		主任技師			現場代理人			ボーリング責任者		
孔口標高	KBM 100.62m	角	180° 上 90° 下		方	270° 北 0° 90° 180° 西 東		地盤勾配	鉛直 90° 水平		
総掘進長	12.00m	使用機種	試錐機 カノーKR-50			ハンマー 落下用具	半自動落下				
		エンジン	NFAD-7			ポンプ	V5-P				

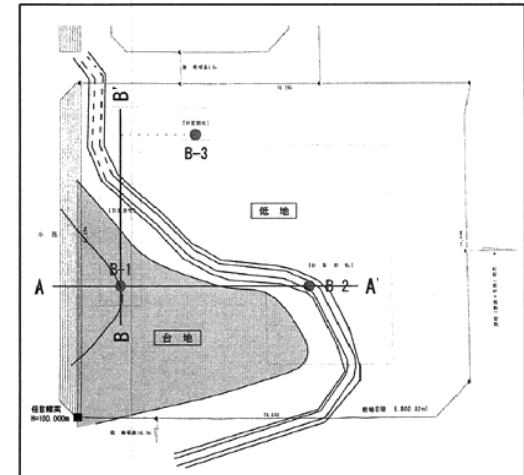


平面图 縮尺 1 : 500



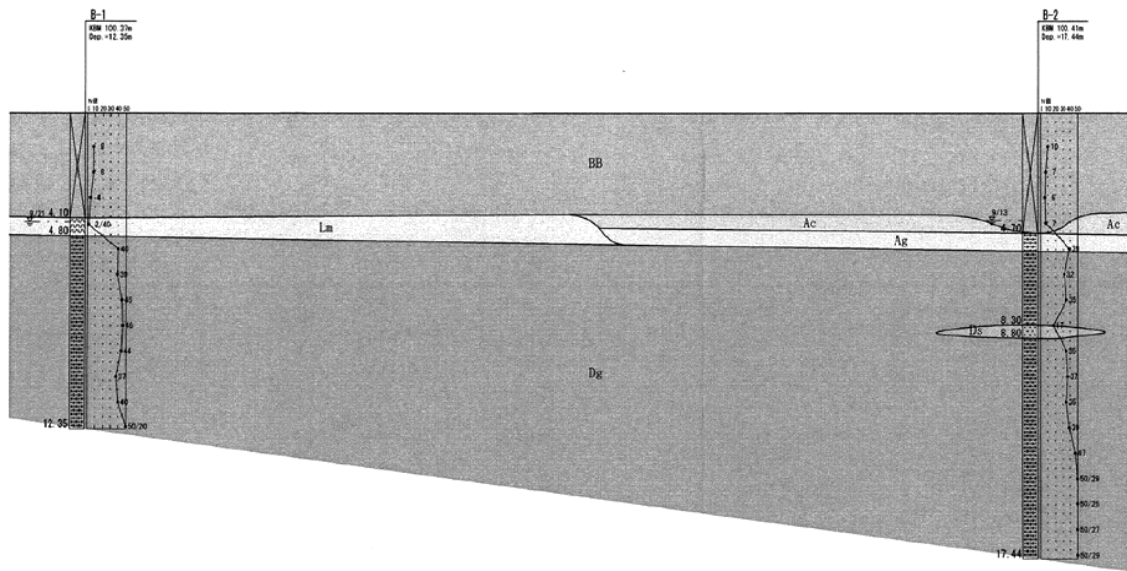
地質想定断面図 縮尺 1:200

平面図 1:1000



(A-A' 断面)

KBM=100.00m

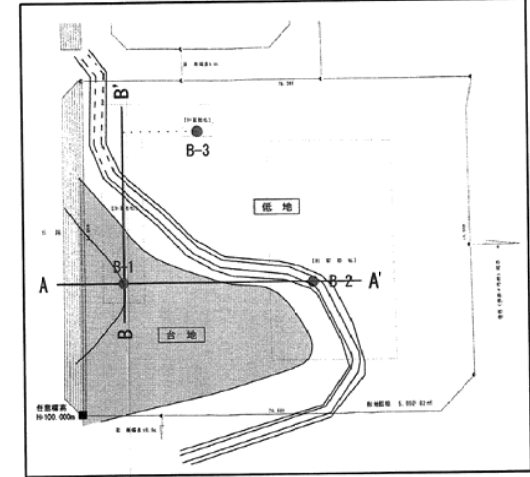


凡例

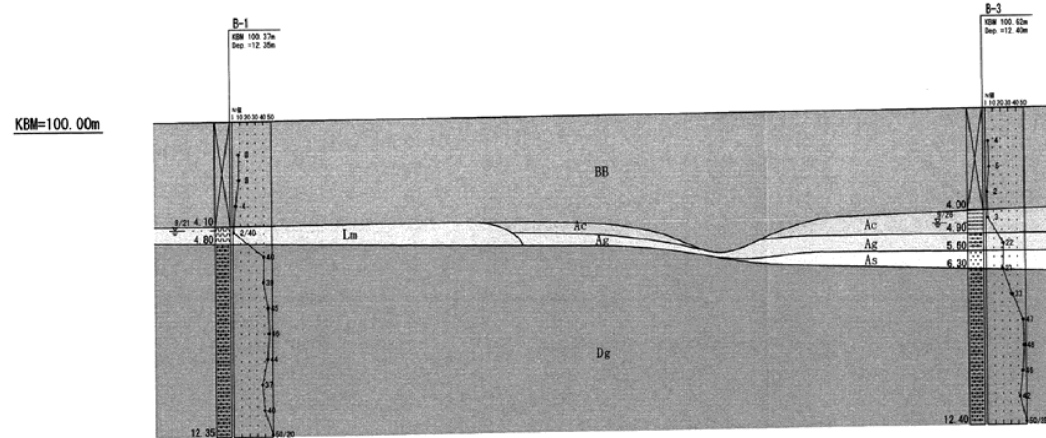
時代	土質区分	記号
沖積世	盛土	BB
	シルト	Ac
	砂礫	Ag
	砂	As
洪積世	ローム	Lm
	砂礫	Dg
	砂	Ds

地質想定断面図 縮尺 1:200

平面図 1:1000



(B-B' 断面)



KBM=100.00m

凡例

時代	土質区分	記号
沖積世	盛土	BB
	シルト	Ac
	砂礫	Ag
	砂	As
洪積世	ローム	Lm
	砂礫	Dg
	砂	Ds